

湘南支部のスローガン
～長寿社会に若さを求めて～

～ ご挨拶 ～

支部長 古林 茂

平成 28 年度全国支部長会が 2 月 12 日に行われ本部の 27 年度見込み、28 年度予算が満場一致で承認されました。詳細は後日発行の寿会ニュースにてご確認ください。

一方各支部共に高齢化と会員の減少が会の運営にも支障を来たしかねない程の深刻な問題になりつつあるとの共通認識の場にもなりました。湘南支部の皆さんはご安心下さい。昨年承認頂いた中期計画に沿って運営しておりますので少なくとも東京オリンピックが開かれる 2020 年迄は全く問題有りません。引き続き会員皆様方のご支援とご協力の程宜しく願い申し上げます。

来る 5 月 20 日には第 6 回支部総会を計画しております。平成 27 年度の活動結果と平成 28 年度活動計画はもとより支部活動全般に対しても皆様方の貴重なご意見を頂戴出来る絶好な機会と考えております。私共役員も「溢れる笑顔で健康寿命を延ばす」のテーマに相応しい会にしようと張り切って準備を始めております。

どうぞ皆様、万事お繰り合わせの上奮ってご参加頂きます様お願い申し上げます。

～第6回 湘南支部総会のご案内～ 詳細案内は4月上旬に送付予定

第6回湘南支部総会を下記日程・内容で開催いたします。決算及び活動報告に加え今回も皆様の健康促進と懇親を深める会といたしたく、多数の方々のご参加よろしくお願い申し上げます。

日 時:平成 28 年 5 月 20 日(金) 11:00～14:00

場 所:横浜国際ホテル 7F 蘭の間

会 費:6,000 円

今までの健康談義は、第一回は健康ボール、第二回はジェルチューブ、第三回はつぼ棒でした。今回はツボの実践を計画しています。市販の磁気を用いて首や肩のコリのポイントの捜し方、貼り方を皆様と一緒にいきます。(楽な服装でいらして下さい)



懐かしい仲間と飲んで、語りあうことは若さを保つ秘訣だそうです。恒例になりました総会でお会いできますことを楽しみにしております！



1・サークル活動ご案内

衣笠山公園での花見のご案内

日 時: 3月31日(木)

集合場所: JR横須賀駅 バス停 2 番乗り場 11:00

(会場)横須賀市衣笠山公園・桜樹 2,000 本の県内屈指の桜の名所

会 費:1,000 円(当日頂きます)

参加締切:3 月 30 日(水) AM12:00迄 飲食物準備の為

申し込先: 景山 康二 :tel: 0466-36-9228 :携帯: 090-1054-3100

Eメール : koji_k194812@jcom.home.ne.jp

中谷 泰治 :tel: 0466-27-8537 携帯: 080-5021-4622

Eメール : nktn1946@ae.auone-net.jp

「金沢八景・野島、景勝の海でアサリ掘り」の御案内

～詳細は別途案内～

日 時:6月6日(月)

集合場所:シーサイドライン「野島公園」駅改札口 10:00

会 費:2,000 円(当日頂きます)

第1部:アサリ掘り 第2部:昼食+小宴会

申込期限:5 月 31 日(火)迄

申込み先:飛田和男:極力パソコンメールか携帯メールへお願いします

P Cメール : kawasemi-hotuma@jcom.home.ne.jp

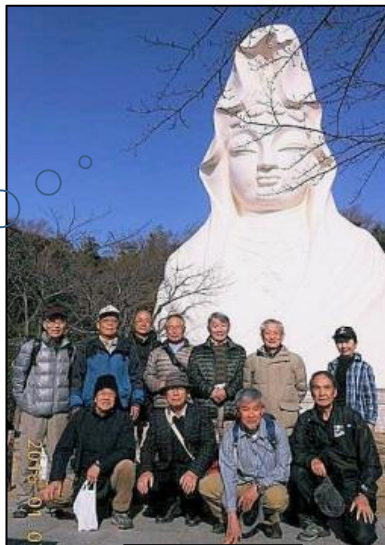
携 帯 : 090-4933-8403

2・サークル活動報告初詣編

1月7日(木)大船観音、龍宝寺へ初詣

参加者: 市楽正博、大曾根収、景山康二、川崎勝弘、古林茂、菅沼喜久次、中谷泰治
浜田正義、南健輔、山本三樹夫、伊藤恵美子 以上 11 名

大船駅より徒歩 10 分。
青空に観音様が映えてきれいでした!



大船観音

とても静かな落ち着いたお寺でした



龍宝寺

還暦を過ぎたら自転車に乗ろう

第3回 「あそ 1962 乗車」……(前編)

旅人:井澤 勇



井澤氏と自転車



九州には多くの観光列車が走っている。全国的に有名な緑色した総二階建ての観光列車「ゆふいの森」を始め、路線毎に趣向を凝らした列車があり、鉄道ファンだけでなく一度は乗ってみたいと思う人は多いはずだ。その観光列車の一つに、自転車をそのまま乗せる事が出来る特急がある。その名を「あそ 1962」と言う、このような列車を別名「サイクルトレイン」と呼び、日本各地で試験的にではあるが運転されているチャーターが世に認知され始めた証で真に嬉しい事である。

今回、私は 50 年前に修学旅行で訪ねた「阿蘇の米塚」から阿蘇高原を自転車で下ってみようと計画した。「あそ 1962」への乗車はそのついでである。羽田から熊本へ飛んだ我々は、サポート車で豊肥本線の「立野」と言う駅に向かった。

鉄道ファンに人気のこの駅は、大分へ向かい列車がスイッチバックで山登りを始める駅であると同時に、トロッコ列車で名を売った南阿蘇鉄道の始発駅だからだ。折角だから我々はまず南阿蘇鉄道のトロッコ列車にも乗ろうと計画した。といっても実際に乗るのは私だけで、助手はレンタカーで終点の「高森」駅に向かってもらった。立野駅 14 時 30 分発のトロッコ列車は走り始めて直ぐトンネルに入った。トンネルを出ると、そこは目も眩む高さの溪谷に架かった鉄橋の上で、日本一の高さだと説明が有ったが私は高い所が苦手でハラハラしていて詳しい事は覚えていない。また沿線には阿蘇山脈を「源」にした湧き水があちこちで湧き出していて、雄大なカルデラ阿蘇を堪能できるお勧めの列車である、途中日本一長い駅名だと言う小さな駅に停まったが、余り長い駅名でこちらも忘れてしまった。40 分のトロッコ列車は思いの外激しい振動で、終点「高森駅」に着く頃にはお尻が痛くなった事だけをハッキリ覚えている。

翌日、お目当ての「あそ 1962」へ熊本駅から乗車した。勿論助手を除き私だけである、助手はレンタカーでの移動で、これはいつもの事だ、サイクルトレインと言うものの、今日自転車を持って乗車したのは私だけで、何か申し訳ない気分になった。暫く走ると昨日トロッコ列車に乗った「立野」に着き、ここからいよいよ山登りが始まった。



日本一長い名前の駅



～今回は「訪日中国人の爆買について背景」を考察します～

6年前2010年に共産党高層幹部に極秘で配布された資料に中国国富について0.4%の国民が国富の95%を持っている、と。極端な富の偏在ですが、13.7億人の0.4%は548万人です。これが第一次の資産富裕層です。殆んどが、共産党老幹部一族(太子党)と役人幹部でしょう。

さて大連勤務中、多くの石油、電力の巨大国営企業や解放軍傘下の巨大企業の交流した相手の副総経理(副社長)、部長、主任(部長級)、科長(日本の課長)の年収はズバリ日本円で二千万円台は普通です。現場の作業員、一般事務員の年収は50万円～200万円程度で幹部との格差は日本の比ではありません。上記の548万人の資産富裕層の他に、大手国有企業、解放軍傘下企業高級幹部は、確実に収入では第二の富裕層と言えます。

また高級幹部役人や党幹部には、灰色収入もあり、個々人で違うでしょうが富裕層になると思います。例えば、大連銅線ケーブル会社勤務の時、国家機関の上海にあるケーブル国家標準委員会トップの主任と毎月3万元(53万円)で秘密顧問契約を結びました。何回か会食した時、しつこく相手から持ちかけられ私が決定してサインしたので良く覚えています。彼は同業他社からも、同様と推測出来ます。つまり許認可権の有る党幹部や幹部役人は勤務先から貰う年収は多くなくても何らかの形で、関係業界企業から灰色収入が有るものと思われまます。こういう人々が収入で第三の富裕層でしょう。更に民間企業オーナーで事業に成功した企業家や有能な弁護士、灰色収入の有る外科医師等が第四の富裕層と言えます。富裕層は海外旅行も出来、各地の名産品を購入できる訳です。

お金の件は兎も角として、何故海外で爆買するか？ですが、一つには中国国内では、極端に言うと、何時も偽物を掴まされる不安があるからです。同じ中国製の品物でも、日本企業が現地生産して日本に輸入したものは、品質管理がしっかりしています。しかし私が北京の老舗大手百貨店で買った中国製カラーシャツは洗濯二回で色落ちしました。家電製品、自動車、文具、宝飾品、何でもそうです。よく壊れます。それにデザインも、イマイチでダサい。更に食品では、本来食べてはいけない何百頭単位で病死した豚肉を販売していたとか、連日中国TVの偽物生産販売現場の摘発ニュースを見ていれば、誰でも中国国内で安心して安全なものを買えるのか疑問に思います。

もう20年前初めて北京に行った時、日本製品が何でも、技術の先進性と機能の豊富さ、便利さ、品質信頼性、耐久性等が非常に高く評価されている事を知りました。こんな背景からお金が自由になり、日本に旅行すれば、日本製品を買うのは自然なことです。裏返せば国民全般に中国製品・食品等と人を騙す事の多い中国の商業道德に対する抜きがたい不信感があるからでしょう。実態は中国の国民が一番良く知っています。自業自得です。それは中国政府と国民が自身で解決すべき問題です。アリババがネット通販で成功をしていますが、それは今迄の中国の弱点を逆さに取って、支払いと物の品質を確実に保証した事から飛躍的に拡大している訳です。

目先の中国経済減速や人民元安、中国政府の反日方針が爆買にどう影響するかは、要注意です。一方爆買ではなく本当に日本の文化、風物を楽しみに来日する知人達も少なくありません。

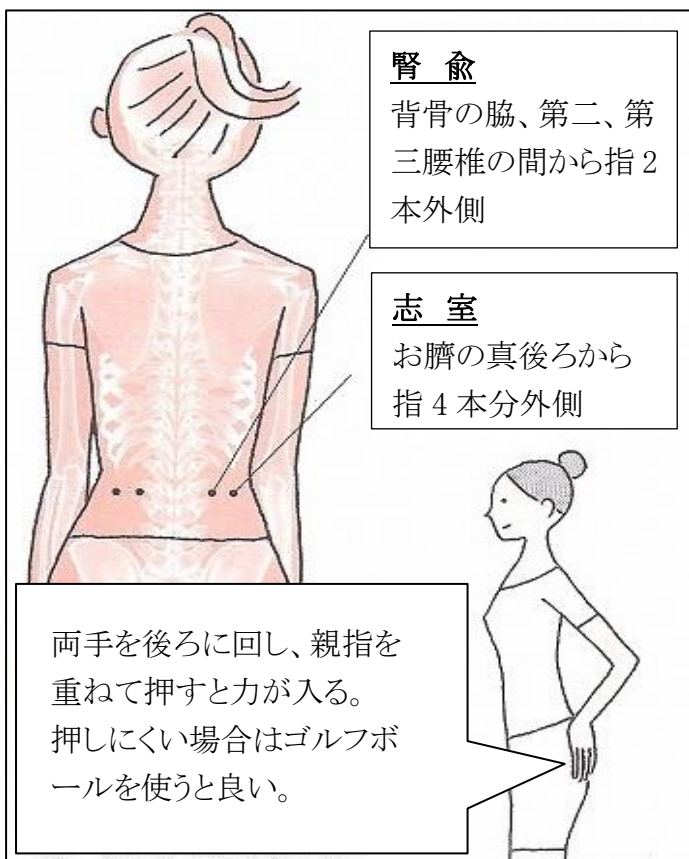
次回は定年退職後、延べ3年暮らした旧満州の見聞を書きます。

記 中谷

腰痛

「高血圧」「トイレが近い」「こむら返し」そして今回の「腰痛」と4回にわたりツボを紹介してきました。しかし、1つのツボは幾つかの症状とだぶって効果があります。体にはツボは「365」とも、それ以上とも言われています。今まで挙げたツボを押すと、どこかしこに効くという訳です。ご自分で押して、痛いけれど気持ち良い処がツボと思って良いと思って下さい。

同時に運動も並行して行うことで効果が倍加します。いろいろ試してご自分のツボと健康方法を見つけて下さい！



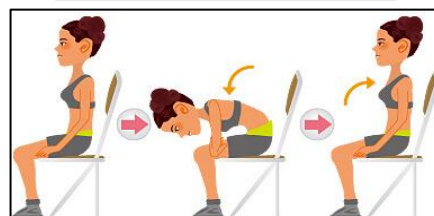
腰痛体操、ストレッチを行う場合の約束事

- ★ 絶対に無理をして行わない。痛みがあるときにはやめる。
- ★ 反動をつけたり、無理に伸ばしたりしない。痛みがひどくなる場合はすぐに中止する。
- ★ 自分のペースで行い、毎日継続できるようにするのが良い。
- ★ 治療中の方は医師の意見に従う。

朝起きる前に布団の中で行うと良い



椅子に座って出来ます



昭和41年、大変な古文書の写本が再発見され心血を注ぐ解説の結果、学会を騒然とさせました。
⇒古代大和文字とおぼしき文字で書かれており判読不能⇒スパコンの力で翻訳に成功してみれば古事記、日本書紀の原典ではないかと⇒偽書との説もありますが古代のロマンに溢れ、日本人の暖かい魂の故郷として大事にされてしかるべき古文書、表題の由来については下記の様に今に伝えていきます。

天神四代目のウビチニが木の実を植えて3年と3月3日目に花も実もモモ(百＝沢山)になった処から、これをモモの花・モモの木・モモの実と呼び、それ以来男神の名をモモヒナギ:百日木、女神の名をモモヒナミ:百日実と呼ぶようになりました。ウビチニは妻と3年目の3月3日に因み、この時お神酒を杯について男神が女神に勧め、女神が先に杯を3度に飲んで男神に返し、次は男神が二の杯を3度に飲んで女神に返し、三の杯は女神が先に飲んで男神が飲み両神とも3度ずつ三回飲み交わした処から三々九度のしきたりが生まれたとか(一夫一婦制・ヒナ祭りの始まりも)。

神酒(ミキ)の名もミ(実:女)が先に飲んで後にキ(木:男)が飲んだ処からミキと呼ぶようになり、酒盃を「さかずき」と呼ぶのも、この時宵の美しい月が盃に逆さに映った処から命名された、と…

この古文書の名前は「秀真伝」(ほつまつたへ)です、偽書とは何でしょう、古事記より豊富な内容、明快な記述、いにしえからの尊き多くの伝へを五七調で一万行超に及び今に伝えてくれています。上記はほんのサワリ、Wikipediaや市販の解説書に詳しいです、御一読いかがですか。 飛田

7・会員情報

各支部よりの訃報 期間 (2015年11月～2016年2月)

ご氏名	支 部	ご 命 日	享年
高橋 美枝子	横浜南支部会員ご令室	平成 27 年 11 月 27 日	86 歳
古橋 順越	元湘南支部	平成 27 年 12 月 9 日	77 歳
岡田 文雄	千葉支部	平成 27 年 12 月 19 日	72 歳
中村 玲子	湘南支部	平成 28 年 1 月 8 日	81 歳
高野 詮栄	元湘南支部	平成 28 年 2 月 16 日	94 歳
松井 雄司	横浜東支部	平成 28 年 2 月 16 日	88 歳

皆様のご冥福を謹んでお祈り申し上げます

8・編集後記

初詣で実は初めて大船観音を訪れましたが、観音像があんなに美しいとは知りませんでした。龍宝寺もしかり。

来年度も湘南支部は色々な情報を発信する上で、皆様のおつきおき情報を教えていただけませんか。

まずは、総会でお話しの伺えることを願っています！

発行日 :平成28年3月1日

発行人 :古林 茂

編集人 :伊藤 恵美子

発 行 :日本ビクター寿会

湘南支部

Back